

2 若手医師の減少

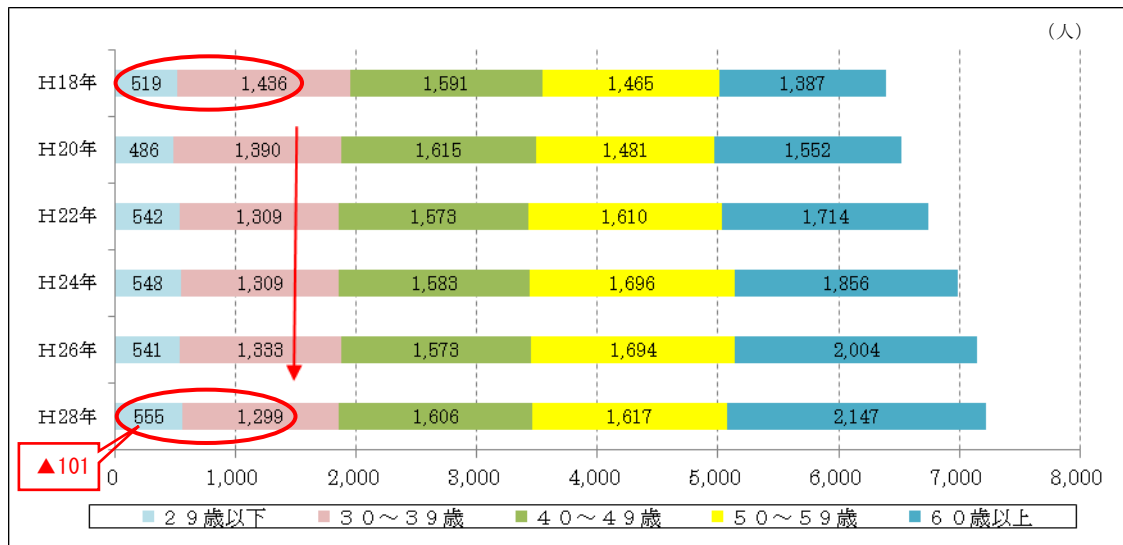
○「初期臨床研修制度」の開始（H16年度）以降，研修内容等が充実している大都市部に研修希望者が集中した影響により，県内の若手医師数は減少している。

近年は，臨床研修医（～2年目）の県内就業が回復傾向にあるが，将来の県内医師数の減少（高齢医師の退職者増）が懸念される。

○ 県内には，医師養成機関が広島大学のみであり，臨床研修医等の若手医師の確保は大きな課題である。

臨床研修修了後は同じ地域で勤務する医師が多い傾向があり，臨床研修医や専攻医の県内就業が，後の定着にもつながることが大きく期待されるため，県外からの誘致を含めた研修医の確保・就業促進が，将来の県内医療体制を維持するためには重要である。

【県内医師数の推移（年齢構成別）】



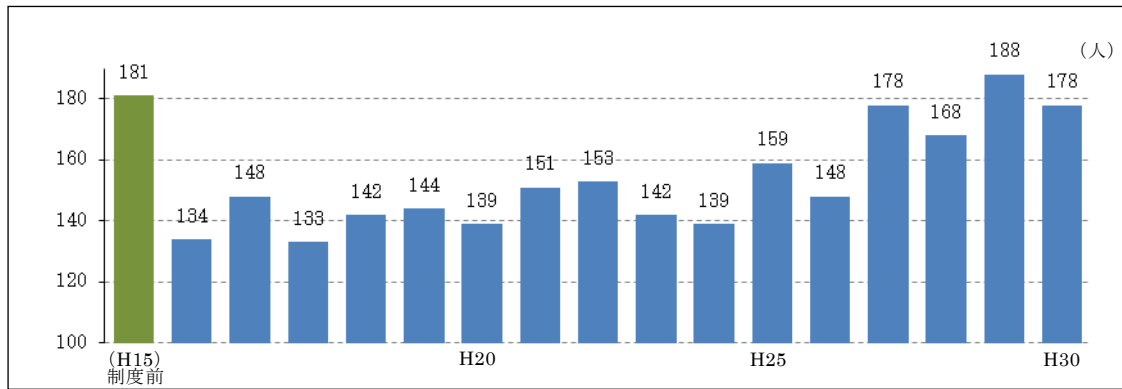
(厚労省「医師・歯科医師・薬剤師調査」)

【県内医師数（圏域・性別・年齢別）】

(H28年度)	男性			女性			計			合計
	39歳以下	40～64歳	65歳以上	39歳以下	40～64歳	65歳以上	39歳以下	40～64歳	65歳以上	
広島県 (構成割合)	1,247	3,324	1,244	607	673	129	1,854 (26%)	3,997 (55%)	1,373 (19%)	7,224 (100%)
広島	710	1,705	590	370	394	75	1,080	2,099	665	3,844
広島西	61	180	69	39	32	6	100	212	75	387
呉	139	357	138	62	58	13	201	415	151	767
広島中央	55	217	81	22	46	11	77	263	92	432
尾三	78	273	112	32	49	6	110	322	118	550
福山・府中	155	487	214	69	87	17	224	574	231	1,029
備北	49	105	40	13	7	1	62	112	41	215
全国	62,651	133,967	43,836	29,952	29,754	4,599	92,603 (30%)	163,721 (54%)	48,435 (16%)	304,759 (100%)

(H28年度「医師・歯科医師・薬剤師調査」の特別集計(厚労省提供))

【臨床研修マッチング者数の推移（県内）】



(医師臨床研修マッチング協議会調べ)

【臨床研修終了後の勤務先】

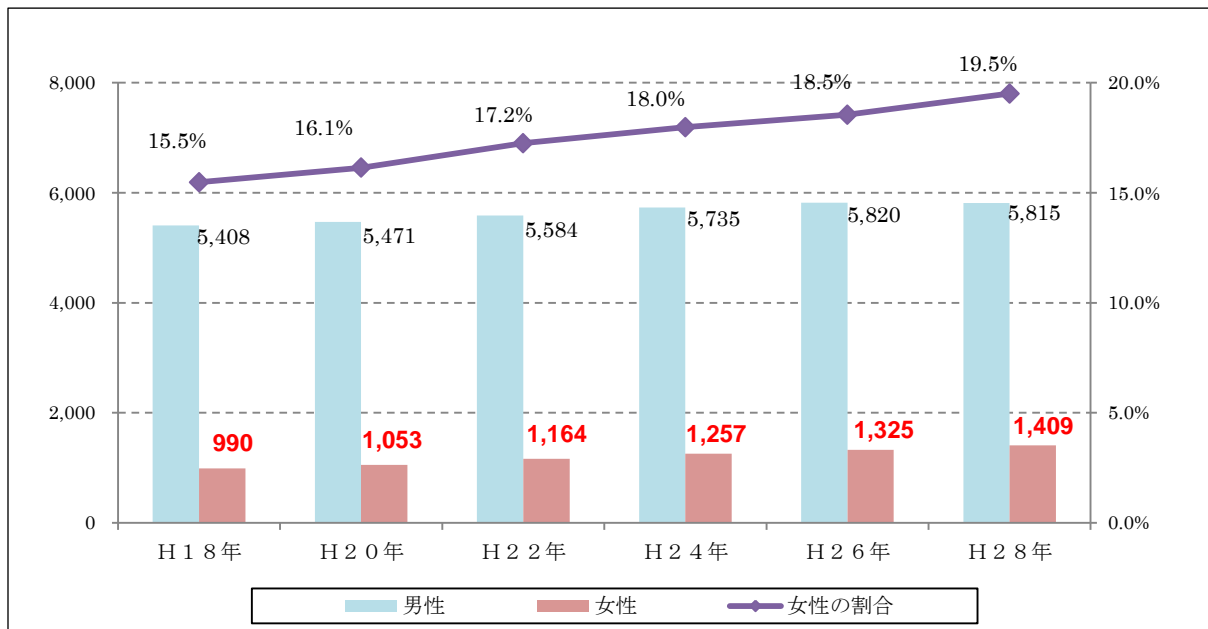
出身地	出身大学	臨床研修病院 (全て県内)	卒後3年目勤務先 (専攻医としての勤務先)	人数	計
県内	県内	広島県内 (県内出身: 91人)	県内	45人	● 県内就業 110人 (80%)
			県外	2人	
	県内		38人		
	県外		6人		
県外	県内	広島県内 (県外出身: 46人)	県内	15人	● 県外へ転出 27人 (20%)
			県外	5人	
	県内		12人		
	県外		14人		

(広島県地域医療支援センター「専門研修プログラム選択に関するアンケート調査」(H30年度))

3 女性医師の増加等

- 医師業務は夜間勤務や長時間勤務が多く、育児・介護等を担うことの多い女性医師は、仕事との両立が難しいことを理由に離職に至るケースも発生している。また、一度離職すると、医療の知識・技術は日進月歩で進むため、医療現場に戻りづらいという業務の特殊性も影響している。
- 県内の医師確保対策を推進していく上では、勤務の内容や環境による影響が大きい女性医師をはじめ、若手医師、高齢医師等を含めて、個別の就労相談等のきめ細やかな対応・支援の重要性が高まっている。

【県内医師数の推移（男女別）】



(厚労省「医師・歯科医師・薬剤師調査」)

4 第7次県計画（H30～）・医師確保対策に係る取組状況

区分・内容	取組状況（H29・30年度）
●医師の育成 ①自治医大，奨学金による医師育成 ②大学医学部寄附講座の設置	① 県育成医師の新規就業（臨床研修開始） H30：21人，H31：25人 ②地域枠医師のキャリア支援，セミナー等開催
● 医師の確保 ③ 初期臨床研修医の確保 ④求職者・求人者間の斡旋 等	③研修病院の情報発信，レジナビ等への参加，指導医講習会受講支援 等 （臨床研修マッチング者数⇒下記） ④地域医療支援センター就業斡旋成立件数 H29：16件（県外から8），H30：19件（〃11）
● 医師の偏在解消・適正配置 ⑤県育成医師の配置調整 ⑥産科医等の確保支援 等	⑤中山間地域医療機関の配置（自治医大，奨学金） H30.4：34人，H31.4：43人 ⑥分娩手当等助成 H29：47機関，H30：46機関
● 女性医師の就業環境の整備等 ⑦仕事と育児の両立が図られる環境支援（育児短時間勤務，院内保育助成 等）	⑦育児短時間勤務実施助成 H29：24機関，H30：21機関 ⑦院内保育所運営助成 H29：43施設，H30：42施設
● 県内への定着促進 ⑧新専門医制度への対応 ⑨中山間地域等での人材育成支援 等	⑧研修プログラム情報発信，関係会議開催 専攻医新規登録者の県内就業 H30：163人，H31：151人 ⑨芸北，備北，東部における広域的人材育成（合同研修の開催等）支援

【目標（成果指標）】

指標	現状値 （計画策定時）	目標値	H30実績等
10万人当たり 医療施設従事医師数	(H28) 254.6人	(H34) 264.6人	※R1.12月頃判明 (H30厚労省調査)
過疎地域の10万人当たり 医療施設従事医医師数	(H28) 190.5人	(H34) 203.4人	〃
30歳代までの 医療施設従事医師数	(H28) 1,854人	(H34) 1,977人以上	〃
初期臨床研修医の マッチ者数	(H20-29平均) 156.5人	(毎年)181人	(H29)188人 (H30)178人
自治医大卒業医師 県内定着率	(H28) 70.5%	(H35) 75.0%	(H31.4時点) 71.6%
ふるさとドクターネット広島 登録者数	(H28) 2,297人	(H35) 3,137人	(H30末時点) 2,829人
短時間正規雇用による 女性医師数（支援医師数）	(H28) 延80人	延80人以上	(H30実績) 延155人